ブランドを守れ！バイク買取の王様のSEO

もしもバイク王からSEOの依頼を受けたらどうします？まずは名前を売ることが先決だ。

『バイクを売るなら～Go・・・』

なんてCMでおなじみの、バイクの買取専門の会社さんのSEOについて考えてみます。

私の記憶では、ここ2～3年のうち、CM内容や音楽をはっきり覚えているものは少ないですが、
このCMはメロディーも鮮明に覚えています。

これくらいの露出があれば、ブランド名での検索も相当多いでしょうね。

『バイク王の関連語句』（Yahooの関連検索）

関連語句がこれだけ出てくるというのはすごいブランド力です。
ご自分のブランドや社名と比較してみてください。

昨年、どこかのSEO会社さんが、自社のブランドを守る為のサービス（検索結果上の）を出していましたが、

（たしか、ブランドガードとかいったかな？　参考：社名、ブランド名を風評被害から守るサービス）

バイク王さんはどのように守っているのでしょうか？？

たとえば、『バイク買取』というワードで見てみましょう。

例）バイク買取（Yahoo検索）

あれ？？バイク王は4番手ですね。（2009.1.15調査）

あれだけの広告を打っているので、残念な結果かもしれません。

しか～し、1番目と2番目のサイトの運営者のところを良く見てください！

株式会社アイケイコーポレーション

実はバイク王の運営者だったんですね。

なんと大胆なブランドガード！！Overtureの1位もガッツリおさえている・・・。

> でも実は、バイク王のサイトを上げたいんだよ・・・。

私：『バイク買取で、1位、2位、4位を独占なんてすごいですね！！』

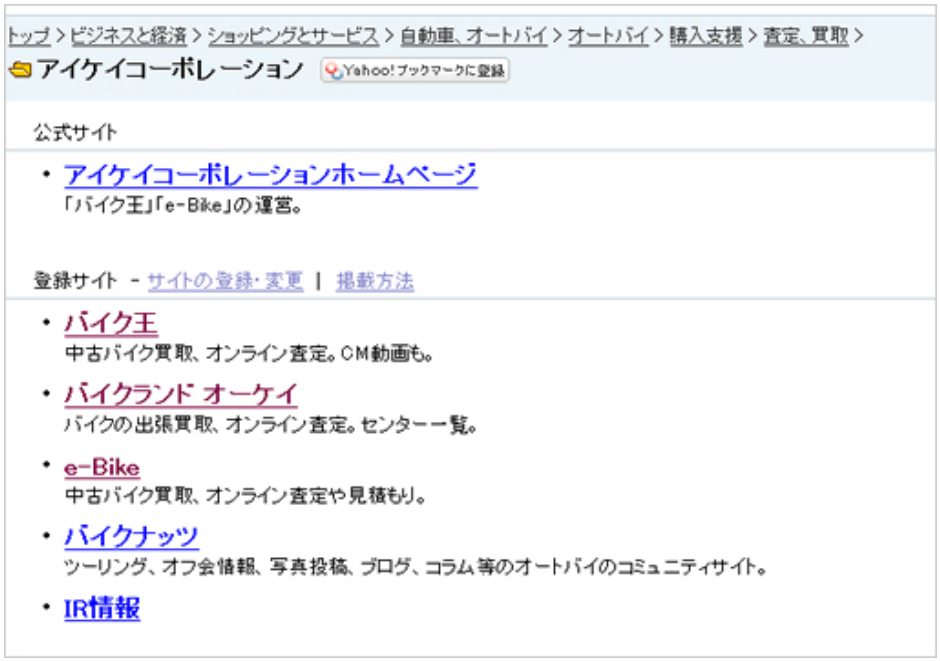
担当者：『いやぁ、実は、バイク王のサイトを1位にもっていきたいんですよね。でもなぜだろう？リンクもかなり増やしたのに・・・。』

（上記の会話は架空です）

そりゃそうですよね。外部リンクの数を見ても、バイク王のサイトが一番多いようだし、
コンテンツも充実しているようです。

Googleでは、『バイク買取』と検索すると、狙い通り、バイク王が1位で出てきます。

Yahoo特有の現象かもしれないので、一応ディレクトリの状況も見ておきましょう。



6個のコンテンツが登録されていますね。
ここは問題がないようです。

すると、内部に問題があるのでしょうか？（結構ありそうだ）

これは時間がかかりそうなので、ちょっと気になった点を1つ、2つ。

トップページ以外の部分で目立ったのが、サイト左上のテキスト

『バイク買取専門店バイク王』

ここがなぜか、H2を使用しているケースが多いようです。

別にH1で問題ないのではないかな？
（まぁここまで来ると、こんな細かいことは、順位には関係ないと思うが）

もし私が依頼をうけたなら・・・。

先のテキストを、トップページへのアンカーリンクにしちゃいます。

そして、『バイク買取』で1位に来ているサイトのフッターのリンクを『バイク王』に向けます。

とりあえず手軽にできる対応をして様子をみてから、次の対策を考えます。

（良い改善案を思いついた方は是非コメントください！！）

おまけとまとめ

最近はどこの業界でも、口コミサイトが増えています。アイケイコーポレーションでも、バイクナッツというサイトを運営しています。

その他運営サイト

バイク販売(中古バイク販売)ならバイク王ダイレクトSHOP
http://www.8190ds.jp/

雨上がり決死隊のバイク王Web調査隊!「なんで、バイク王なん!?」
http://www.8190cp.com/

バイク王!パーツ | 株式会社アイケイコーポレーション
http://parts.8190.co.jp/

あとは、多くのアフィリエイターが、バイク王専用のアフィリエイトサイトを作成しているということです。

バイク王で査定 マジェスティ・shadowを売りたい
http://www.vtz.jp/

こうしたアフィリエイターをどうやって味方につけるかは、今後とっても重要になってくるでしょう。

最近では、アフィリエイター向けに積極的に素材提供をしたりする企業もあるようです。

今回の取材？でバイク王さんに教えられたことは、

『細かいことを気にせずに、力強く前に進め！名前を売ることが最強のSEOだ！』

なんだか励まされました。

お礼に、このリアルSEOの記事の下に、テキスト広告をプレゼントしたいと思います！

リンクはこの下に↓↓↓↓↓↓